

シンポジウム：40年の歩み

号	年	タイトル	司会	提案者（*印は論考の掲載なし）
1	1971	学としての英語教育学の樹立の可能性について	鳥居次好	藤掛庄市 英語教育学樹立の歴史的必然性 斎藤武生 英語教育学樹立の条件 徳田政信 英語教育学の構造条件—国語教育の立場から
2	1972	英語教育学は何をするべきか—英語教師の養成及び自己研修のために	岩元憲	丸山健蔵・中山兼芳・佐々木昭・志村鏡一郎・田辺洋二
3	1973	英語教育学のカリキュラムについて—教員養成カリキュラムとの関連において	織田正	角替弘志・成瀬正行・深谷哲
4	1974	英語教育学の発展を阻むもの	鳥居次好	藤掛庄市・青木昭六・羽鳥博愛
5	1975	日本における英語教育の将来（I） —四つの視点から—岩本憲日本の英語教育の将来（教育学）	鳥居次好	*羽鳥博愛・*垣田直巳 徳田政信 フィロソフィーのある英語教育を（国語学）
6-1	1976	学校における英語教育とそれ以外の英語教育に相違があるとすればそれは何か	岩元憲・小林康伸	伊藤健三・*地坂隆三*松岡宏
6-2	1976	日本における英語教育の将来（I I） —他の国の外国語教育と比較して—	鳥居次好・荒木一雄	黒川泰男 ソ連・中国の英語教育の実態
7	1977	日本の英語教育の特殊性は何か	佐々木昭・牛田敏雄	黒川泰男・*鳥居次好
8	1978	*日本における英語教育の将来—東西文化の流れにおいて	垣田直巳・砂川勝信	*高梨健吉・*大城立祐・*比嘉正範
9	1979	英語教育に対する国会の批判	鳥居次好	保坂忠信 今の英語教育はこれでいいか 徳田政信 英語教育は会話と通訳が目的か —安価なプラグマチズムを排す—
10	1980	英語教育は何才から始めるのがよいか	鳥居次好・大貫三郎	岩本憲・*小笠原林樹・*徳田政信
11	1981	英語教育において性格がどうかかわるか	徳田政信・加瀬正二郎	鳥居次好・*佐々木昭 青木昭六 —とくに、教師論の観点から— 渡辺昌義・*次重寛嬉・*鳥居次好
12	1982	学習者要因は英語学力とどう関連するか	徳田政信・青木昭六	
13	1983	新学習指導要領のもとにおける英語教育の到達目標はいかにあるべきか	佐々木昭・茨山良夫	*内藤忠・*稲光彦・*四方万二・*北尾キャスリーン
14	1984	英語教育にコミュニケーションはどうかかわるか	佐々木昭・本田実浄	*茨山良夫・*諏訪部真・*黒川泰男
15	1985	英語教育は人間教育にどうかかわるか	佐々木昭・若松孝慈	*後田忠勝・*林要・*上田慶一
16	1986	英語科における自己教育力はいかにあるべきか	佐々木昭・久保田泰男	後田忠勝・*林要・*鈴木誠
17	1987	国際化社会における英語教育はいかにあるべきか	佐々木昭・次重寛嬉	小川邦彦・*FDPower・*飯塚成彦・*徳田政信
18	1988	国際化時代に求められている英語教師の資質とは何か	佐々木昭・渡邊時夫	*諏訪部真・*墓村御幸・*G.Gibbs・*M.Kasulen
19	1989	日本の英語教育は変わったか	佐々木昭・月山秀夫	北弘志・*青木昭六・*小川邦彦・*西川栄紀
20	1990	これからの英語教育学はいかにあるべきか	船城道雄・若松孝慈	松川禮子 本学会における研究のレビューと展望 伊東治巳 理論と実践の連携を踏まえた英語教育学論の展開 北弘志 日本の英語教育における現実的課題と 英語教育学が示唆する理論的課題との接点を求めて
21	1991	これからの英語教育—研究と実践	佐々木昭・加瀬正二郎	次重寛嬉 渡邊時夫 英語教師の役割 諏訪部真 新しいパラダイムに立つ実践研究
22	1992	国際化と英語教師のあり方	佐々木昭・後田忠勝	中西満貴典 高等学校英語か研究紀要にみられる 「国際化」の観点の分析 若松孝慈 発信技能を重視した「能動型英語教育」と文化相対主義に基づいた「異文化教育」との接点を求めて
23	1993	コミュニケーション能力を測る入試はどうあるべきか	月山秀夫・茨山良夫	*佐々木昭・*小川清・*小寺光雄
24	1994	公立小学校における国際理解と英語教育の在り方	佐々木昭・藤掛庄市	*小池生夫・*渡辺寛治・*渡邊時夫・*松川禮子
25	1995	中部英語教育学会 25 年を振り返り、将来への展望を探る	諏訪部真・萬戸克憲	*白畑知彦・*西川洋子 次重寛嬉 『紀要』にみる中部地区英語教育学会 25 年の歴史 茨山良夫 主として組織・運営の面から 諏訪部真 シンポジウムについて
26	1996	英語教育における国際理解教育の授業展開	小川邦彦	*深沢一三・*藤掛庄市 伊原巧 英語科教育における国際理解の目的、内容、方法 若松孝慈 英語教育と異文化理解をどのように連動させえるか
27	1997	コンピュータを利用した英語教育の実践と展望	北弘志・若松孝慈	*中川祥治・*亀山太一・*藤掛庄市
28	1998	国際化と英語教育—長野オリンピックの貢献	渡邊時夫	*小出博治・*藤沢秀行・*山で貴美子・*中山兼芳
29	1999	21 世紀、このままでいいのか日本の英語教育	中山兼芳・若松孝慈	{要旨報告あり} *中村偵・*青木昭六 船城道雄 日本固有の英語教育と英語教育界の自立性 北弘志 二十一世紀日本の英語教育へ四つの提言

号	年	タイトル	司会	提案者（*印は論考の掲載なし）
30	2000	英語指導における理論と実践の相互作用を目指して —英語教育学研究のあり方を考える—	青木昭六・茨山良夫	{要旨報告あり} *大下邦幸 コミュニカティブ・クラスの理論構築 *佐野正之 理論と実践の統合をめざして： アクション・リサーチのすすめ *鈴木基伸 学習者の成長を支援する理論と実践： ‘warmheart’ と ‘coolhead’ の統合を目指して
31	2001	小・中・高・大の英語教育の一貫性を実現させるために何が必要か	若松孝慈・杉浦正好	{要旨報告あり}
32	2002	21世紀の英語教育の課題と展望	加瀬正二郎・大下邦幸	{要旨報告あり}
33	2003	英語教員に求められる“力”とその養成	渡邊時夫・松川禮子	{要旨報告あり}
34	2004	激動の英語教育を考える：『戦略構想』の光と陰	渡邊時夫・新里真男	{要旨報告あり}
35	2005	英語の学力低下問題について論ず—その現状と克服方法—	渡邊時夫・古家貴雄	{要旨報告あり}
36	2006	アジアの英語教育最前線から日本の英語教育をみる	渡邊時夫・江利川春雄	{要旨報告あり}
37	2007	自立学習者をどう育てるか	大下邦幸・早瀬光秋	{要旨報告あり}
38	2008	新学習指導要領を考える	大下邦幸・渡邊時夫	{要旨報告あり}
39	2009	日本の英語教育が目指すべき「英語力」とは何か	大下邦幸・三浦孝	{要旨報告あり}
40	2010	中部地区英語教育学会40年を振り返り、英語教育の未来を展望する	青木昭六・大下邦幸	佐々木昭・渡邊時夫・平野絹枝・酒井英樹